

小千谷小学校の支援体制

学校生活を送る上で「学校に行きたくない」「勉強がわからない」「友達とうまくかかわれない」「忘れ物が多い」等の困り感が生じることがあります。その困り感解消のため、担任だけでなく、校内でチームを組んで子どもたちのサポートにあたります。

○子どもたちの学習・生活をサポートするメンバー

- ・学級担任、学年主任
- ・特別支援教育コーディネーター（学校全体の調整役）
- ・個別支援コーディネーター（支援内容・方法の調整 直接支援）
- ・学校支援員（直接支援）

心配なことがあったらどうするの？

まず、担任に連絡を

学習・生活する中で、困ったことや心配なことなどがありましたら、担任にご相談ください。担任・コーディネーターでお子さんのことを一緒に考えていきます。

① 面談

- ・ お子さんの心配なこと、困っていることを聞かせてください。

② 支援の方針を検討するための検査

- ・ 面談後、必要に応じて検査を実施します。
- ・ 検査の結果については、結果を示し説明します。

③ 支援の方法を相談

- ・ お子さんにとってよりよい支援を検討します。

どんな支援があるの？

教室で学習をサポートする学校支援員

○支援内容・方法

- ・ 担任の指示をより分かりやすく伝える（ことばで・文で・図で）
- ・ 学習の参加を促す（ことばで、合図で）
- ・ 学習用具を正しく使うコツをアドバイスする（ことばで・見本）
- ・ 子どもの取組に対して、誉めたり励ましたりする 等

○支援を受けている子どもの様子

- ・ 個別に教えてもらえるからとても安心、勉強がよくわかる。
- ・ 授業の進度に遅れず課題に取り組める。
- ・ 宿題を1人で進められる。等

どんな支援があるの？

個の学びのスタイルに応じた学習支援をする「サポート」

○支援内容・方法

- ・ 国語、算数の学習をメインとした少人数で安心な学習環境。
- ・ 本人の得意な力を活かした学び方で指導（視覚教材、P C、拡大等）
- ・ 本人の負担を配慮した学習課題の量や時間の調整。

○支援を受けている子どもの様子

- ・ 成績があがった。勉強が楽しくなった。
- ・ 安心して自分を出せるので、「サポート」の時間が待ち遠しい。
- ・ 宿題を1人で進められる。等

どんな支援があるの？

個の発達に応じた支援をする「きらめき」

○支援内容・方法

- ・ 少人数で安心、安全な学習環境。
- ・ 一人でできるように個々の力に応じた支援（人、教材、時間配分など）
- ・ 個々の力に応じて交流学年、学級との共同学習。

○支援を受けている子どもの様子

- ・ 「できる」「わかる」の成功体験をたくさん積めて、「学校は楽しい。」
- ・ 学級の友達や小千谷小学校以外の友達などたくさんの友達ができた。
- ・ 一人でできることがたくさんある。